

【漁業】

八戸港の水揚げ状況 数量：4,208 トン (前年同月比 32.7%減)
金額：1,677 百万円 (前年同月比 27.9%増)

- ・イカ釣り漁業：水揚内訳は、近海スルメイカが数量 532 トン(前年同月比 160.8%増)、金額 290 百万円(同 149.7%増)と不漁であった昨年から持ち直した。船凍アカイカは1航海目の蔵出し分で数量 4 トン(同 99.3%減)、金額 2.4 百万円(同 99.2%減)となった。
- ・トロール漁業：水揚内訳は、大型船の水揚で 140 トン、金額 69 百万円。中型、小型トロール漁業は7月から8月までが休漁期間のため水揚げなし。
- ・巻き網漁業：水揚内訳は、数量 3,201 トン(前年同月比 35.9%減)、金額 1,208 百万円(同 91.4%増)となった。昨年同月はサバやイワシが豊漁であったが、今回は数量減となった。反面、昨年同月で水揚が少なかった単価の高いスルメイカが 1,410 トン(221.9%増)、金額 682.6 百万円(226%増)の水揚があったことから、全体の数量減少に対して金額は大きく上回った。

<八戸港漁業種類別水揚げ状況>

(単位：トン、百万円、%、円/10キロ)

	数量	増減率	金額	増減率	魚価
イカ釣り	536	Δ 33.7	293	Δ 31.9	5,460
トロール	140	Δ 7.3	69	Δ 44.4	4,932
巻き網	3,201	Δ 35.9	1,208	91.4	3,774
小型巻き網	112	2.8	23	Δ 14.5	2,035
その他	219	15.3	84	Δ 15.1	3,849
月計	4,208	Δ 32.7	1,677	27.9	3,985
年累計	14,081	Δ 52.8	5,735	Δ 7.7	4,073

※年累計は 2019 年 1 月から

資料：八戸市農林水産部水産事務所

【水産加工】

- ・漁の最盛期に向けて人手不足が深刻な課題となっている。
- ・サバ缶詰は徐々に落ち着き感がでてきている。
- ・ちくわ等の練り商品、イカ塩辛、メサバの受注状況は堅調に推移している。
- ・従来の定番加工品に加え、漁獲量が安定している魚種を活用した消費者の健康志向とライフスタイルに合わせた小分け型の惣菜系加工品、味付のレトルト加工品などの受注状況が良好であり、新商品の開発にも注力している。

イカ釣り漁水揚げ内訳

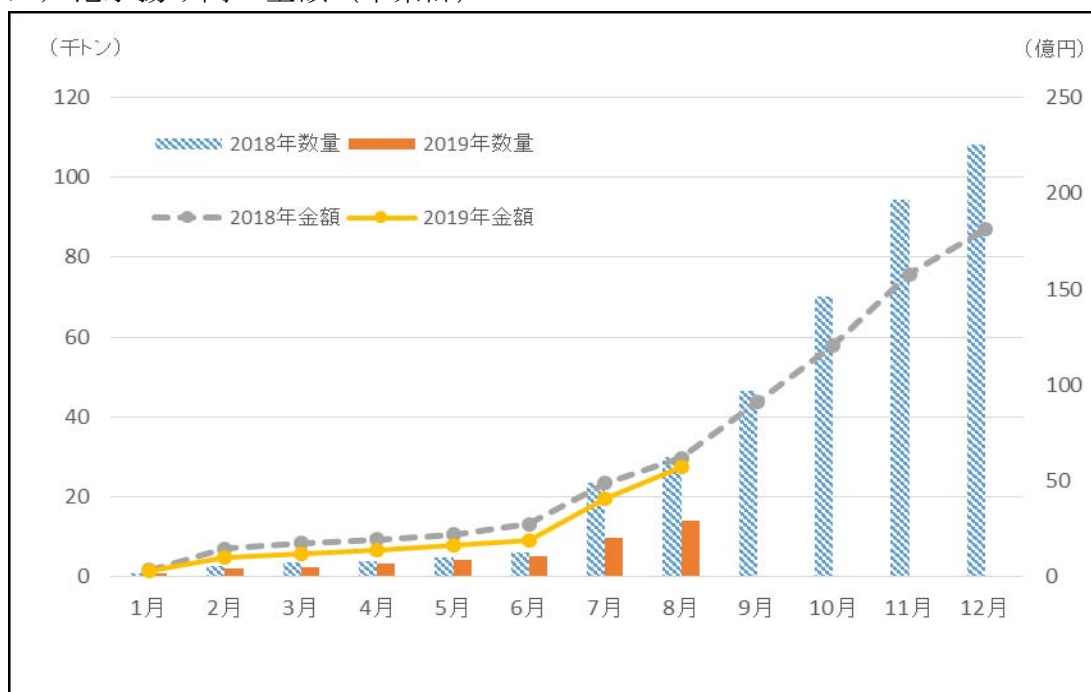
(単位：トン、百万円、%、円/10キロ)

	数量	前年同月比	年累計数量	前年同月比	魚価2019年
	金額	前年同月比	年累計金額	前年同月比	魚価2018年
生スルメイカ	532	160.8	654	47.0	5,456
	290	149.7	348	45.3	5,698
船凍スルメイカ	-	-	798	Δ 24.7	-
	-	-	557	Δ 18.7	-
ニュージーランドスルメイカ	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
船凍アカイカ	4	Δ 99.3	3,696	Δ 16.9	6,015
	2	Δ 99.2	1,869	Δ 12.8	5,181

※年累計は2019年1月から

資料：八戸市農林水産部水産事務所

八戸港水揚げ高・金額（年累計）



資料：八戸市農林水産部水産事務所

八戸港主要水産物輸出状況（2019年7月）

(単位：トン、百万円、下段は前年同月)

	数量	累計数量	金額	累計金額
サバ	361	1,446	39	161
	385	2,939	38	331
イカ	-	-	-	-
	-	-	-	-
計	361	1,446	39	161
	385	2,939	38	331

※年累計は2019年1月から

資料：財務省貿易統計